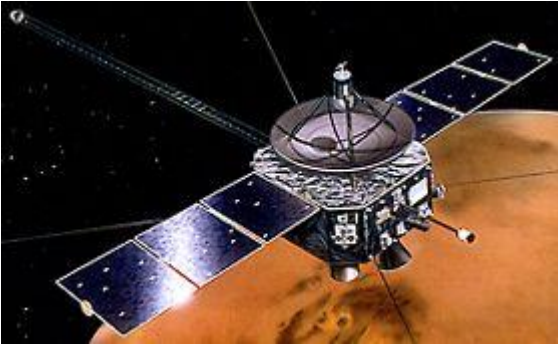


火星についてぞー

「↑は、木星なのでは？」

「いや、それは人類が云々です。今回は火星と地球の距離が非常に近くなったことを狙って、日本や欧米が衛星を飛ばした話じゃないのかな？」



「あー、そー言えば日本の火星探査衛星は今いずこ？」
「”のぞみ”は今は人工”惑星”として太陽の周りを・・・」
「がーん！ そうだったのか、最近情報を聞かないと思っ
たら」

「火星の近所にまではなんとかたどり着いたものの、太陽フレアを浴びたりして電気系統がやられたり止まったりした影響がどく、制御できなくなったから火星周回軌道に乗れませんでした」

「調査できなかったのか・・・」

「というわけで今は”はやぶさ”に期待しましょう。この5月19日にスイングバイに成功しました」



「？ なにをスイング？」

「惑星や衛星の重力を使って加速、進行方向を変更するという手法。今回は地球スイングバイ」

「火星に向かっていきますか？」

「いや、これは小惑星 I TOKAWA に向かっていきます。そして小惑星のサンプルを持ち帰ります。月以外の天体の土壌

サンプルはまだ持ち帰ったことがないのでこれはすごいことですよ。2005年に小惑星に着いて、2007年帰還予定」

「むー、まだ先だ。火星は他の衛星はちゃんと着きましたか？」

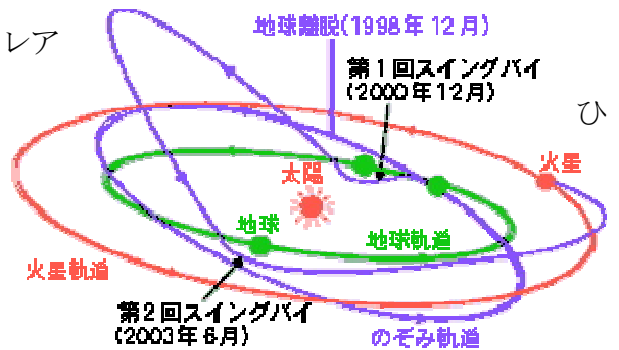
「着いたものの、問題山積っぽい」

「というと、火星墜落とか？」

「欧州の”マーズ・エクスプレス”は火星周回に着いたものの、着陸機の”ビーグル2”は火星に突入した後その消息を絶ちました」

「絶ちましたか・・・火星人が攻撃しているから？」

「さて、それはどうでしょう。でも衛星の方は頑張っているんで高解像度ステレオカメラからカラー3次元写真が続々と届いております。(http://moon.jaxa.jp/ja/mars/exploration/MEX/gallery.html)」



「おー。なかなかやるなー、で、後は米国のが残っていますね、一番よく話題になってますけど、”スピリット”と”オポチュニティ”？」

「”マーズ・エクスプロレーション・ローバ”はその2つの探査車を火星に着陸させ、起動させることに成功していますね、続々と火星地表の写真やデータが送られてきています」

「なんか、これは交信を絶ったとかで大変な感じだったと思ったけど、直ったのですか？」

「”スピリット”が交信を絶ったのは、フラッシュメモリに写真のファイルが数千と大量になってしまったことが原因だったね。ファイルが増えてOSがファイルを管理するためのメモリ（32MB）を食いつぶした。それでOSはなんかおかしいって一で自動再起動を繰り返すことになり、地球からは交信を絶ったように見えていた。最終的にバッテリーが少なくなって診断モードで立ち上がったので、この時に地球との交信が回復。これで地球側（NASA）は問題に対処し、復旧」

「これで水の痕跡とか調査されているのか、で、今後はなにを探すの？ 火星人の痕跡？」

「”オポチュニティ”がクレーターの内部の調査、降りた所よりもより深い地層の調査で過去の水の状態を探る予定。問題はこのクレーターの傾斜が急なので、入ったが最後、出てこられなくなるかもしれないこと。それにそなえて最近”熟睡”モードでバッテリーの寿命を延ばすようにしています」

「熟睡？ 寝てるのですか？」

「そのとおり、夜のみ機器が寒くなりすぎて壊れないようにヒーターを動かしていたのも止めて、バッテリー使わないようにしているのが熟睡モード。計算上、夜はマイナス48度まで下がる」

「寒そうです。でも熟睡はいいですね、すやすやです。ぐーぐー」

「・・・終わり？」

「はっ！ 今なにげに眠ったのは置いといて、マイナス48度でも大丈夫？」

「マイナス50度くらいで問題が発生しそうです・・・というわけで予断を許さない状態が続いています」

「あと、なにげに”オポチュニティ”の画像とか火星の写真が掲載されていないのはなぜですか！？ 日本の衛星の図ならあるけれど」

「NASAのは教育関係とかでない駄目っぽいような広告ではいけないというだけなようなでよくわからない。ただJAXAは日本語で掲載時のルールが記載されていたのでそれに従ってみた。なお、<http://moon.jaxa.jp/ja/mars/exploration/MER/topics.html>で”オポチュニティ”の写真などご覧下さい」
※全ての画像の著作権はJAXAにあります。（<http://www.jaxa.jp/>）

おわり